

年頭あいさつ

あけましておめでとつございませう。皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より町行政運営に対しまして、深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとイスラム組織ハマスの紛争や円安による物価の高騰が進み生活への影響が大きなものとなっております。

こうした中、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類から5類に引き下げられたことにより、産業まつり等各種事業が平常通りの開催となり、5年ぶりに町民の皆様は笑顔を間近で拝見することができ、心より嬉しく存じます。

一方、町の施策等を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた生活者の負担軽減を目的とした「地域生活応援券発行事業」を実施し、全町民の方々に二三千円分の商品券の配布を実施いたしました。10月には議会の議決を頂き、千葉県内で初となる「自動運転バス実証調査事業」を実施することとなり、本年2月からの運行開始に向け進めているところであります。



DX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に推進することにより、町民の利便性の向上に資することを期待しております。また、現在進められている横芝小学校改築工事や横芝光インターチェンジ周辺開発事業も順調に進んでいるところであります。

さて、本年も第2次横芝光町総合計画後期基本計画に掲げる様々な施策を推進し、本計画の基本構想である町の将来像「人・自然・文化が奏でる暮らし夢広がる幸せ実感のまち横芝光」の実現に向け皆様と心をつなぐ努力を重ねてまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう御祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

町長 佐藤 晴彦

新年



実証走行する新型EVバス(イメージ写真)

2月

自動運転バスを活用した実証調査走行を開始

東陽病院－横芝駅－ピアシティ横芝光を結ぶルートを、ゆっくりな速度(35km/h最高速度)で実証走行します。

町では、高齢化による移動需要の変化やドライバー不足などの2024年問題に対応する公共交通課題解決につながるため、国の補助金を活用して自動運転バス1台を導入し走行ルートを周回します。

実証走行期間はどなたでも無料で利用できますので、ぜひ、ご利用ください。

※事前にLINEでの乗車予約が可能です。